

## (7) 北 陸



北陸地域では、景気は持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (    は上方に変更、    は下方に変更)。

### 前回からの主要変更点

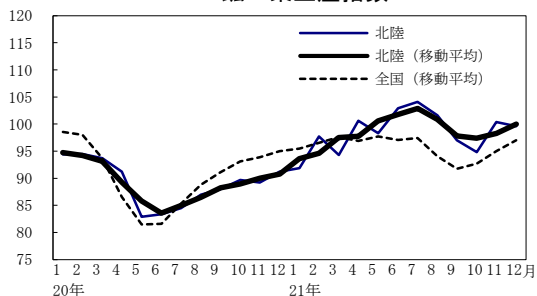
	前回 (令和3年12月)	今回 (令和4年3月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつある中、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	↓
鉱工業生産	持ち直している	緩やかに持ち直している	↓
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直しに足踏みがみられる	↓
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している	↑

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は緩やかに持ち直している。

10-12月期の鉱工業生産は、電子部品・デバイスは電子デバイス等が減少したこと、生産用機械は半導体製造装置等が減少したこと等により、前期比2.6%減となった。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
電子部品・デバイス	15.3	▲9.4	▲9.0	▲7.9	7.9	8.0
化学	14.0	▲2.4	9.2	15.1	5.9	3.2
生産用機械	11.8	23.6	▲8.6	▲9.5	14.3	▲13.1
金属製品	8.1	1.0	0.1	▲1.7	2.6	▲0.5
繊維	6.9	4.4	0.4	▲0.7	1.6	▲3.0
鉱工業	100.0	0.3	▲2.6	▲2.3	5.9	▲0.8

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北陸の最新月は速報値。

2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 10-12月期、12月は速報値。

## 2. 個人消費の動向

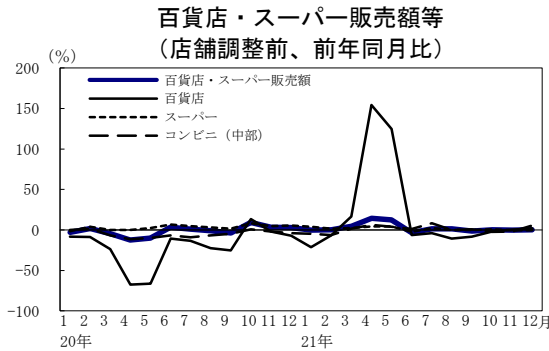
個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。

### (1) 地域別消費総合指数 (RDE I (消費))

10-12月期は前期比2.5%増となった。月別にみると、10月は前月比2.4%増、11月は同0.8%増、12月は同0.6%増となった。

### (2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比0.0%増となった。月別にみると、10月は前年同月比0.2%増、11月は同0.2%減、12月は同0.0%減となった。



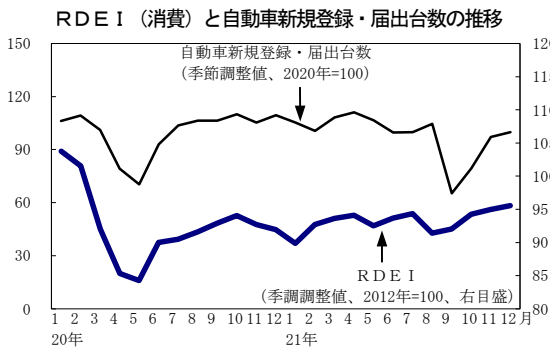
	2021年10-12月	2021年10月	11月	12月
RDE I (消費*1)	2.5	2.4	0.8	0.6
百貨店・スーパー(*2)	0.0	0.2	▲0.2	▲0.0
百貨店(*2)	0.3	▲2.0	0.5	1.9
スーパー(*2)	▲0.1	0.7	▲0.3	▲0.5
コンビニ(*2)	0.4	▲2.6	▲1.9	5.5
乗用車(*3)	▲14.6	▲28.6	▲5.8	▲8.6
(季節調整値) (*3)	2.5	21.4	22.5	2.8

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

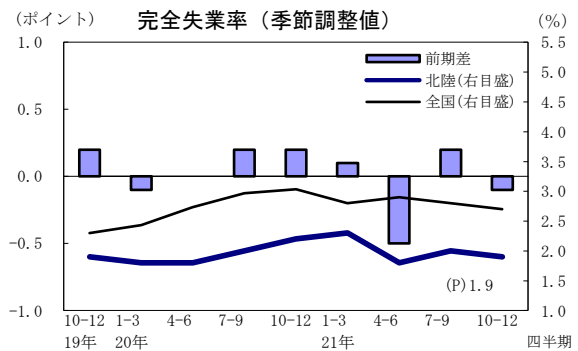
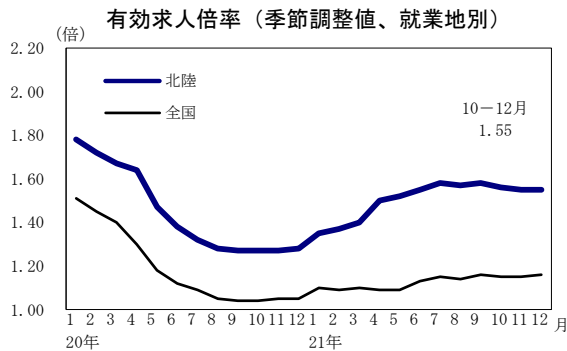
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段)前年同期(月)比(%)



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。

2. 10-12月期の値は暫定値。

(13) 景気ウォッチャー調査（令和4年1月調査）景気判断理由の概要

7. 北陸

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野	判断	判断の理由	
現状	家計 動向 関連	▲	・1月に入り新型コロナウイルスオミクロン株を中心に急激に新規感染者数が増加している。1月27日から当地にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、外出を避けているようである。夜の街も閑散としているため、売上が減少している（タクシー運転手）。
		□	・原材料の値上げに伴い、ドラッグストアでもグロサリーの値上げが見受けられる。客単価は上がっているが、来客数、購入点数が落ちているため、全体の売上も下がっている（スーパー）。
		×	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、出張や旅行のキャンセルが相次いでいる（旅行代理店）。
	企業 動向 関連	□	・半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による輸送遅延、原材料費高騰等で、引き続き厳しい状況が続いている（プラスチック製品製造業）。
		○	・年明け後の閑散期ではあるが、外食やテイクアウト需要向けの受注に加えて海外輸出向け受注も好調で、前年実績を大幅に上回る勢いで推移している（食料品製造業）。
		×	・コロナ禍に加え、燃料価格の高騰、半導体不足のため悪くなっている（輸送業）。
	雇用 関連	□	・求人数に大きな変化がない（求人情報誌製作会社）。
		○	・数か月前と比較すると、少しずつではあるが求人広告の出稿件数が上向いている（新聞社 [求人広告]）。
		▲	・前年同様に年末年始明けに新型コロナウイルスの感染が拡大することまでは読んでいたが、検査体制が強化されたことや、感染力の高い新型コロナウイルスオミクロン株が発生したことなどで、市内の基幹産業がかなりの打撃を受けている（職業安定所）。
	その他の特徴 コメント		□：自動車販売に関しては従来の部品不足に加え、製造工場での新型コロナウイルス感染者の発生に伴い、一旦回復していた配車が再び遅れ始めている。納車に遅れが目立ってきたため、売上にならない。数か月前と同様の状況になっている（乗用車販売店）。 ×：新型コロナウイルスの感染拡大で、街中から高齢者が消えた。人出もめっきり少なくなり、ゴーストタウン化してきている（商店街）。
先行き	家計 動向 関連	□	・新型コロナウイルス変異株の影響がいつまで続くか次第である。社員の感染等が心配である（家電量販店）。
		▲	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、恐らく入学式、卒業式を中心としたセレモニーのウェアや、祝いや祝い返しギフトといった関連の需要や、新生活、旅行、外出などに関連した買物は低迷するとみられ、厳しい動きになると考える（百貨店）。
	企業 動向 関連	□	・半導体関連など需要は旺盛であるが、新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、先行きが不透明になってきている（一般機械器具製造業）。
		○	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるものの、3月決算期の会社が多く、駆け込み需要は相応にあるとみている（通信業）。
		▲	・外国人技能実習生を中止とした人手不足や原材料価格の高騰に更に拍車が掛かることのほかに、新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大の影響を懸念している（繊維工業）。
	雇用 関連	□	・求人数について、状況が変わる要素や気配が見受けられない（学校 [大学]）。
	その他の特徴 コメント		○：3か月先には感染拡大が落ち着いているはずである。それに伴い消費活動が活発化する（コンビニ）。 ▲：足元の受注量は今のところ順調な見通しだが、資材価格の高騰など、先行きは依然として不透明である（建設業）。

(D I) 現状・先行き判断D I（北陸）の推移（季節調整値）

